

データの保存場所について

1 ドキュメントの利用について

保存の際の注意点

2 USB 機器について

3 USB 機器の使用方法

USB ポートに USB メモリを接続する

USB ポートから機器を取り出す

4 USB 利用上の注意点

1 ドキュメントの利用について

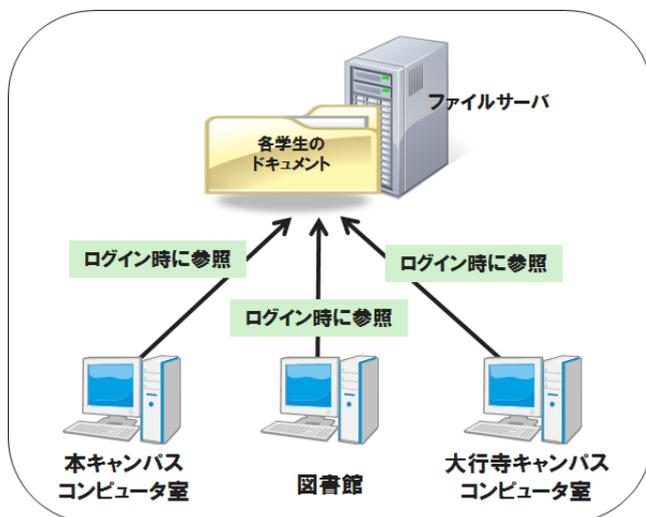
学内ネットワーク（PC）を利用し、データを保存すると、利用者それぞれの「ドキュメントフォルダ」に保存されます。

データはPCではなく、ネットワークを介してファイルサーバに保存されるため、本学のどこのコンピュータを使っても利用者自身のドキュメントが見えるようになります。

ドキュメントフォルダはID別に付与されていますので、他人が見ることも削除することもできません。ファイルを保存するときは以下の場所に保存してください。

[PC] → [ドキュメント] ただし、ファイルサーバでご利用いただける保存容量は **1人当たり 50MB** に制限されています。

もし上記以外の場所にファイルを保存した場合、(デスクトップ等) PCの電源を切ると消えてしまいます。



保存の際の注意点

一人当たりの保存容量は 50MB です。容量を超えないように注意してください。

また、サーバは障害に備えた管理がされていますが、データ喪失の可能性は「極めて低い」だけであり、100% 絶対大丈夫というものではありません。重要なデータは、USB メモリにも保存するなど、日頃から自身のバックアップも行っておきましょう。

2 USB 機器について

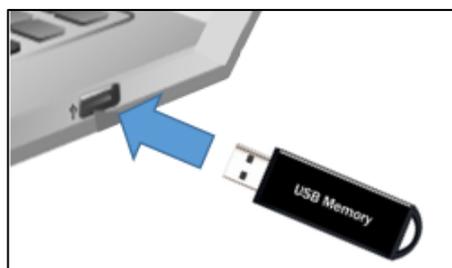
USB は簡単な操作で大容量のデータを外部記憶メディアに保存できたり、様々な種類のリムーバブルディスクを読み込んだりすることができます。(USB = Universal Serial Bus の略: パソコンと周辺機器を結ぶデータ転送路の規格の1つ)

ここでは、USB 媒体の使用の方法を説明します。(USB が接続できる機器であればほぼ同様の操作で使用できます)

3 USB 機器の使用方法

USB ポートに USB メモリを接続する

- ① コンピュータの USB ポートに USB メモリを接続します。



- ② USB メモリを学内パソコンで使用する際は、接続後、自動再生フォルダを開く前に、必ずセキュリティソフトでウイルスチェックを行ってください。

スキャンの手順

- (1) USB を差し込む
- (2) コンピュータ→USB 機器名を右クリック
- (3) スキャンの項目をクリック

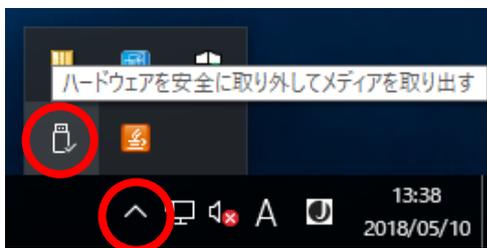
- ③ スキャンが終わったら、以下のような自動再生画面のフォルダをクリックするか（あるいはコンピュータ→該当ドライブをダブルクリック）で USB の中身が表示されます。



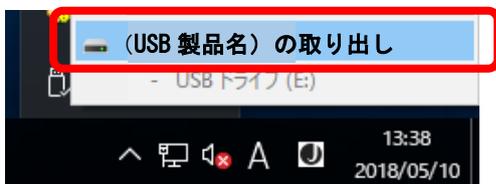
USB ポートから機器を取り出す

・USB メモリの使用終了時は、すぐに USB メモリを USB ポートから抜いてしまうと、USB メモリの故障やデータ破損の原因になりますので、次の手順に従って USB メモリを停止させてから抜くようにしましょう。

- ① すべてファイルを閉じ、タスクバー右側付近のハアイコンをクリックし、USB のアイコンをクリック。



- ② (USB 製品名) 取り出しをクリック



- ③ USB のアイコンが消えたのを確認してから、USB メモリを USB ポートから抜いてください。

4 USB 利用上の注意点

- 自宅パソコンなど外部で使用した USB メモリを学内パソコンで使用する際は必ず、セキュリティソフトでウイルスチェックを行ってください。
- セキュリティソフトにてウイルス感染が発見された場合は、速やかに駆除作業を行ってください。
- 外部での感染が疑われる場合は外部のパソコンも駆除を行う必要があります。
- 持ち込んだ USB メモリについての不具合は利用者個々の責任で解決してください。
- ドライバインストールが必要な USB 機器に関しては、利用できないこともあります。
- 保存データの情報漏洩などの危険がありますので、USB メモリを学内PCに差したままの離席・抜き忘れ・紛失等には十分に注意してください。